

介護職員等特定処遇改善計画書(令和 元 年度加算届出用)

事業所等情報

介護保険事業所番号

1 1

①開設(事業)者	フリガナ 名称	シャカイフクシホウジン アンジュカイ 社会福祉法人 杏樹会		
②開設(事業)者の所在地	〒	358-0013	都・道 府・県	入間市上藤沢851番地1
	電話番号	04-2966-7171	FAX番号	04-2966-7173
③事業所等の名称	フリガナ 名称	添付書類1一覧表による		提供するサービス 老人福祉
	〒	埼玉県		
④事業所の所在地	電話番号	FAX番号		
	複数の事業所を一括して提出する場合の一括して提出する事業所数			特定加算(Ⅰ) ()事業所
※この場合、事業所等情報については、「別紙一覧表による」と記載すること。			特定加算(Ⅱ) ()事業所	

(1) 賃金改善計画について(本計画に記載された金額については見込みの額であり、申請時以降の運営状況(利用者数等)、人員配置状況(職員数等)その他の事由により変動があり得るものである。)

①算定する加算区分	介護職員等特定処遇改善加算 (<input type="checkbox"/> 加算Ⅰ <input type="checkbox"/> 加算Ⅱ)		
②現行の処遇改善加算の取得状況	介護職員処遇改善加算 (<input type="checkbox"/> 加算Ⅰ <input type="checkbox"/> 加算Ⅱ <input type="checkbox"/> 加算Ⅲ)		
③サービス提供体制強化加算等の取得状況 (該当するものにチェック(シ)) ※加算Ⅰでは、いずれかの取得が必須	<input type="checkbox"/>	サービス提供体制強化加算(Ⅰ)イ	<input type="checkbox"/> すべて取得なし
	<input type="checkbox"/>	特定事業所加算(Ⅰ)	<input type="checkbox"/> 特定事業所加算(Ⅱ)
	<input type="checkbox"/>	入居継続支援加算	<input type="checkbox"/> 日常生活継続支援加算
※複数の事業所を一括して提出する場合は、①～③の記入は不要。(添付資料1に、各事業所の状況を記入すること。)			
④介護職員等特定処遇改善加算算定対象月 (サービス提供月。10月～翌年3月までの連続する期間)	令和元年	10月	～令和2年3月
⑤令和元年度介護職員等特定処遇改善加算の見込額(総額) ※⑤<⑥★			11,802,143 円
★賃金改善の見込額(i-ii) ※令和元年度と初取得前年度との賃金比較 ※自動計算			35,822,312 円
⑥	i) 特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(年間の見込額)(iii+vi+ix) ※自動計算	805,493,620 円	
	ii) 初めて特定加算を取得する(した)年度の前年度の賃金の総額(iv+vii+x) ※自動計算	769,671,308 円	
⑦	経験・技能のある介護職員(①)における平均賃金改善額((iii-iv)/v) ※自動計算	342,489	円・34.8 人
	iii) 特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(年間の見込額)	167,799,768 円	
	iv) 初めて特定加算を取得する(した)年度の前年度の賃金の総額	155,898,265 円	
	v) 当該事業所における経験・技能のある介護職員の人数(常勤換算)	34.75 人	
	【そのうち、月額8万円の改善又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者(見込数)】	5 人	
⑧	他の介護職員(②)における平均賃金改善額((vi-vii)/viii) ※自動計算	169,997	円・112.4 人
	vi) 特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(年間の見込額)	368,412,556 円	
	vii) 初めて特定加算を取得する(した)年度の前年度の賃金の総額	349,298,040 円	
	viii) 当該事業所におけるその他の介護職員の人数(常勤換算)	112.44 人	
⑨	その他の職種(③)における平均賃金改善額((ix-x)/xi) ※自動計算	56,611	円・85 人
	ix) 特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(年間の見込額)	269,281,296 円	
	x) 初めて特定加算を取得する(した)年度の前年度の賃金の総額	264,475,003 円	
	xi) 当該事業所におけるその他の職種の人数(常勤換算もしくは実人数) ※既に賃金が年額440万円以上の人は対象外 【そのうち、改善後の賃金が最も高額な者の賃金(見込額)】	84.9 人 4,342,682 円	
判定結果	OK		
⑩賃金改善実施期間	平成1年4月～令和2年3月		
※原則10月～翌年3月までの連続する期間を記入すること。なお、当該期間の月数は加算の対象月数を超えてはならない。			
⑪	賃金改善を行う賃金項目及び方法(賃金改善を行う賃金項目(増額若しくは新設した又はする予定である給与の項目の種類(基本給、賞与、〇〇手当等)、賃金改善の実施時期や対象職員、一人当たりの平均賃金改善見込額について、可能な限り具体的に記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士資格を有する勤続10年以上の常勤介護職員24名程度に、勤続年数・等級などに応じて1人当たり10万円を令和2年2月に一時金として支給する。 ・平成31年4月より常勤職員の介護福祉士に資格手当を月額5000円引き上げる。 ・社会保険加入の介護職員で介護福祉士取得に資格手当を月額1000円引き上げる。 ・非常勤職員の時給を4月より平均30円程度引き上げる。 	
	①の「経験・技能のある介護職員」の基準設定の考え方(「経験・技能のある介護職員」のグループを設定しない場合は、その理由を記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士であり、他事業所を含め介護職員として10年以上勤務している者で、3等級以上で年収が500万円未満の者に一時金を支給。通所介護事業所1施設については、夜勤が無いため、他事業所と同等の一時金を支給しても、440万円以上の改善には繋がらず、他5事業所は440万円以上の介護職員がいる為、1名は他事業所から改善者を出す。 	

【記載上の注意】

※1 ⑥については、法定福利費等の賃金改善に伴う増加分も含むことができる。

※2 ⑥が⑤を上回らなければならないこと。

※3 ⑥ii)の計算に際しては、賃金改善実施期間の職員の人数と合わせた上で算出すること。すなわち、比較時点から賃金改善実施期間の始点までに職員が増加した場合、当該職員と同等の勤続年数の職員が比較時点にもいたと仮定して、賃金総額に上乘せする必要があることに留意すること。

※4 複数の介護サービス事業所等について一括して提出する場合、以下の添付書類についても作成すること。

- ・添付書類1: 都道府県等の圏域内の、当該計画書に記載された計画の対象となる介護サービス事業所等の一覧表(指定権者ごと)
- ・添付書類2: 各都道府県内の指定権者(当該都道府県を含む。)の一覧表(都道府県ごと)
- ・添付書類3: 計画書に記載された計画の対象となる介護サービス事業者等に係る都道府県の一覧表

(2) 職場環境等要件について (※)太枠内に記載すること

平成20年10月から現在までに実施した事項について必ず**全て**にチェック(レ)をつけること。
複数の取組を行い、「資質の向上」、「労働環境・処遇の改善」及び「その他」について、**それぞれ1つ以上の取組を行うこと。**

資質の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援(研修受講時の他の介護職員の負担を軽減するための代替職員確保を含む) <input type="checkbox"/> 研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動 <input type="checkbox"/> 小規模事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築 <input type="checkbox"/> キャリアパス要件に該当する事項(キャリアパス要件を満たしていない介護事業者に限る) <input type="checkbox"/> その他()
労働環境・処遇の改善	<input type="checkbox"/> 新人介護職員の早期離職防止のためのエルダー・メンター(新人指導担当者)制度等導入 <input type="checkbox"/> 雇用管理改善のため管理者の労働・安全衛生法規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実 <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用(ケア内容や申し送り事項の共有(事業所内に加えタブレット端末を活用し訪問先でアクセスを可能にすること等を含む)による介護職員の事務負担軽減、個々の利用者へのサービス履歴・訪問介護員の出勤情報管理によるサービス提供責任者のシフト管理に係る事務負担軽減、利用者情報蓄積による利用者個々の特性に応じたサービス提供等)による業務省力化 <input checked="" type="checkbox"/> 介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入 <input checked="" type="checkbox"/> 子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の整備 <input type="checkbox"/> ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善 <input type="checkbox"/> 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化 <input checked="" type="checkbox"/> 健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備 <input type="checkbox"/> その他()
その他	<input type="checkbox"/> 介護サービス情報公表制度の活用による経営・人材育成理念の見える化 <input type="checkbox"/> 中途採用者(他産業とからの転職者、主婦層、中高年齢者等)に特化した人事制度の確立(勤務シフトの配慮、短時間正規職員制度の導入等) <input type="checkbox"/> 障害を有する者でも働きやすい職場環境構築や勤務シフト配慮 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の児童・生徒や住民との交流による地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上 <input checked="" type="checkbox"/> 非正規職員から正規職員への転換 <input type="checkbox"/> 職員の増員による業務負担の軽減 <input type="checkbox"/> その他()

(3) 見える化要件について (※)太枠内に記載すること

実施している周知方法について、チェック(レ)をつけること。2020年度から実施予定である場合には、「予定」にチェック(レ)をつけること。

ホームページへの掲載	<input type="checkbox"/> 「介護サービス情報公表システム」への掲載 / <input type="checkbox"/> 予定 <input checked="" type="checkbox"/> 独自のホームページへの掲載 / <input type="checkbox"/> 予定
その他の方法による掲示等	<input type="checkbox"/> 事業所・施設の建物で、外部から見える場所への掲示 / <input type="checkbox"/> 予定 <input type="checkbox"/> その他()

※虚偽の記載や、介護職員等特定処遇改善加算の請求に関して不正を行った場合には、支払われた介護給付費の返還を求められることや介護事業者の指定が取り消される場合があるので留意すること。

本計画書については、雇用するすべての職員に対し周知をしたうえで、提出していることを証明いたします。

令和 元 年 8 月 29 日

(法人名)

社会福祉法人 杏樹会

(代表者役職・氏名)

理事長 大久保 秀男

印